

# 那覇国際高等学校

## 令和4年度一般入学者選抜合否判定手順 公開資料

### 1 募集人員

一般入学の募集人員は、募集定員から推薦入学内定者数を除いた人員である。

### 2 選抜の方針

- (1) 選抜は、調査書(第2号様式)、学力検査等の成績及び面接の結果をもとにして、総合的に行う。
- (2) 調査書(第2号様式)と学力検査の成績の比重は4：6とする。
- (3) 国際科の選抜において、学力検査の英語の傾斜配点(1.5倍)を実施する。
- (4) 学力検査の問題に本校独自の問題は付加しない。
- (5) 志願者全員に対して面接を実施する。
- (6) 帰国子女については可能な限り配慮するものとする。

※ 帰国子女とは、「海外または日本国主権の及ばない地域において、継続して1年以上教育を受けた者で、かつ、志願時点で帰国後2年以内の者」をいう。

### 3 合否判定基準

内申点(調査書中の1～3年までの国語、社会、数学、理科、英語の評定と、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の評定に補正係数1.5を乗じて合計した点数)と各学力検査の合計点の比重が4：6となるように換算し、合計点の大きい順に並べ各圏の設定を行う。

- (1) A圏  
普通科は成績上位より募集人員の95%程度をA圏とし、国際科は成績上位より募集人員の85%程度をA圏とする。  
第二志望の学科で判定を行う場合は、B圏とする。
- (2) B圏  
普通科、国際科ともに、A圏の次点から成績上位順に、募集人員からA圏の人数を減じた数の2倍の人数をB圏とする。
- (3) C圏  
B圏より成績が下位の者

#### 4 特記事項について

(1) 特記事項Ⅰ

- a 3ヵ年皆出席者。(調査書に皆出席と明記されている者に限る)
- b 特別活動の記録で特に顕著な実績があると認められる者。(生徒会正副会長等)
- c 諸活動の記録で特に顕著な実績があると認められる者。(県代表(全国大会・九州大会出場レベル等)の表彰以上)等
- d 資格保持者。(英語検定2級以上、漢字検定2級以上、数学検定2級以上)等
- e 学力検査点が著しく高い者

(2) 特記事項Ⅱ

- f 行動等の記録に好ましくない記載がある者
- g いずれかの学年において、正当な理由のない欠席が5日以上のある者。
- h 教科の評定に1がある者。
- i 学力検査において、いずれかの教科の得点が20点以下の者。(60点満点×0.35=21点)

(3) 特記事項Ⅲ

- j いずれかの学年において欠席(病欠・届出欠席を含む)が30日以上のある者。
- k 学校医所見欄等で特記事項のある者。
- l 帰国子女である者。

#### 5 合否判定の手順

(1) 第1審議：A圏の中で特記事項Ⅱ該当者を確認し、A圏を審議する。

(2) 第2審議：C圏を審議する。

(3) 第3審議：B圏を審議する。

※ 特記事項Ⅰおよび特記事項Ⅲの該当者については確認を行い、審議する。

※ 普通科における通学区域外合格者の総数は、募集人員の10%以内とする。